

小中学生の地域活動参加に向けた工夫について

(上飯田地区)

馬場 勝己
(上飯田地区連合会長)

平成29年1月26日
情報交換会

1 はじめに

- ✿ 上飯田地区では「みんな仲間のまち上飯田」
～ あいさつと笑顔とやさしさと ～ を地域福祉保健計画の
スローガンとして、安全で安心の町、支え合い助け合いの関係
ができるまちづくりを目指している。
- ✿ これらの実現のため、様々な取り組みを行っているが、特に
小・中学生の地域活動への参加に力を入れている。

2 具体的な取り組み

ア 飯田北いちょう小学校の芝桜植え

上飯田地区で取り組んでいる「みどりと花事業」の一環で、飯田北いちょう小学校の外周に芝桜を植える取り組みを行っており、地域の方々と共に児童にも参加を要請。



イ 地域と小・中学生との交流グラウンドゴルフ

年2回地域と小・中学生の交流グラウンドゴルフを実施。ゲーム終了後、お汁粉と焼そばを食べながら「どんな上飯田にしたいのか」意見交換。



ウ 上飯田西公園および上飯田中学校周辺の清掃

毎年7月、12月、3月の3回、地域の方々と中学生の協働による環境整備事業を実施。毎回多数の中学生が参加。

エ 上飯田連合体育祭に競技役員として参加

10月に実施している上飯田体育祭に、競技役員として50名の中学生が参加。



オ 地域福祉保健計画推進会議への参加

毎年2月に開催する「上飯田地域福祉保健計画推進会議」に、先生と共に中学生にも参加を要請。グループワークで「どんな上飯田にしたいのか」大人と一緒に意見交換。

最後のまとめで、グループ代表としてグループ討議の内容を発表。

3 取り組みの経緯

『中学生の参加については、一朝一夕に
スムーズには進まない』

当時

- ・ 中学校と地域の関わりが深くなったのは、およそ**15年前**。
- ・ 上飯田中学校は一部の生徒たちによる校舎の破壊行為が横行。
- ・ 窓ガラスが割られるなど**教育環境は劣悪だった**。

そして

- ・ 地域と学校が協力して教育環境の改善に取り組む。
- ・ 上飯田中学校の周辺には、不法な建造物、空き地、未整備な林があった。
- ・ **教育環境の改善が急務**の状況。

対応

- ・ 横浜市に不法建造物の取り締まりを陳情、対応を依頼。
- ・ 地域で、空き地の不法投棄ゴミの撤去。林の所有者の許可を得て見通しを良くするための枝落とし、草刈りなど、**中学校と協力して環境改善**に努めた。

結果

- ・徐々に生徒たちも落ち着きを取り戻し、**教育環境が改善**。現在に至る。

①挨拶運動

生徒たちが思い思いにポスターを書き、地域の掲示板等に掲示

地域と一体で運動を推進。今ではいつでもどこでも、**出会うと生徒から挨拶**。

②上飯田地区青少年指導員協議会コミュニティリーダーの育成

地域の行事に年3回以上参加した中学生をコミュニティリーダーに認定。

「青少年育成のつどい」(1月)で認定証と副賞オリジナルキャップ(現在はシャーボ)が贈られる。

※シャーボ … ボールペンとシャーペンが一本化した筆記具

③地域と学校の連携強化

中和田小学校から上飯田小学校への**通学変更**、飯田北小学校といちよう小学校の**再編統合問題**などを経験して強化。

4 うまく行ったこと・苦労したこと

◆うまく行ったこと 😊

①地域の協力体制が確立されたこと

当初、様々な取り組みが地域の方々に理解してもらえるか、協力を得られるか心配だったが、連合自治会会長会議での趣旨説明を経て、快諾された。

②地域と学校の連携体制が整ったこと

校長先生は数年で代わるが、地域との関係はきちんと引き継がれ、学校と地域の意思の疎通が保たれている。

◆苦労したこと 😞

①行事の日程調整

学校は学校行事を優先するため、連合行事との日程調整が難しい。

②体育祭の競技委員の数

50名依頼。参加希望者が多い場合、出来るだけ受けるが、対応が大変。

③経費

経費がかかるため、原資の確保に苦労。

5 上飯田地区の地域活動写真集

清掃活動



コミュニティリーダー認定式



芝桜植え



グラウンドゴルフ大会



6 今後の課題～次世代をどう育てるか

課題および伝えたいこと

- ①中学生の『こうでありたい上飯田像』の実現
- ②中学生の防災活動参加
- ③成人後の地域活動参加